

2011年度群馬県消費者団体連絡会の総会が開催されました

群馬県消費者団体連絡会（会長 中嶋源治）の2011年度総会が5月24日（火）に12団体79名の参加により群馬県勤労福祉センターで開催されました。

中嶋源治会長のあいさつに続き、群馬県生活文化部消費生活課長金田昇様からご祝辞をいただきました。議長にコープぐんまの栗原利明さんを選出し、八田直樹事務局長から、2010年度事業報告、収支決算報告、2011年度事業計画、収支予算、2011年度役員を提案し、平野明男監事から監査報告を行い、全議案が全会一致で承認されました。2011年度の役員体制は、会長に中嶋源治氏（群馬県生活協同組合連合会）、副会長に坂本棟男氏（水とみどり、食を守るぐんま県民会議）、宮田よし子氏（前橋市消費者団体連絡会）、上野ひさ氏（群馬県退職女性教職員の会）、監事に平野明男氏（群馬県民主医療機関連合会）、瀧澤佳津子氏（コープぐんま）、事務局長に八田直樹氏（群馬県生活協同組合連合会）を確認しました。

特別報告「東日本大震災被災地支援報告」を群馬県民主医療機関連合会事務局長の長谷川彰氏から行いました。4つの医療生協から医師や看護師86名の派遣を行い、さらに利根保健生協のDMAT（災害派遣医療チーム）の4陣派遣など、被災地の医療生協と連携した取組みを報告しました。



特別報告の長谷川事務局長

記念講演は、群馬県食品安全局食品安全課係長の手塚秀氏から「放射性物質と健康への影響」をテーマにご講演をいただき、参加者の質問に答えていただきました。①放射線と放射能の違い②自然界での放射能③放射線の半減期④放射性物質の健康への影響⑤ベクレルとシーベルト⑥放射線の国際基準と日本の基準⑦大気中の放射性物質⑧原発事故に関わる放射線の測定結果⑨放射性物質による食品汚染⑩食料や飲料水への影響⑪「ただちに健康に影響があるレベルではない」の意味は？⑫放射性ヨウ素とセシウム

シウムの魚介類への影響⑬福島 第1原発事故の群馬県への影響⑭風評被害防止のための情報提供のあり方等について分かりやすく説明していただきました。



記念講演の質疑応答

群馬県では県庁職員が講師となる「出前講座」のメニューに「放射性物質と健康への影響」を追加し、消費者や事業者、生産者の要請に応じています。群馬県消団連では、今回の総会での講演を契機に、消団連会員の出前講座の活用を呼びかけています。